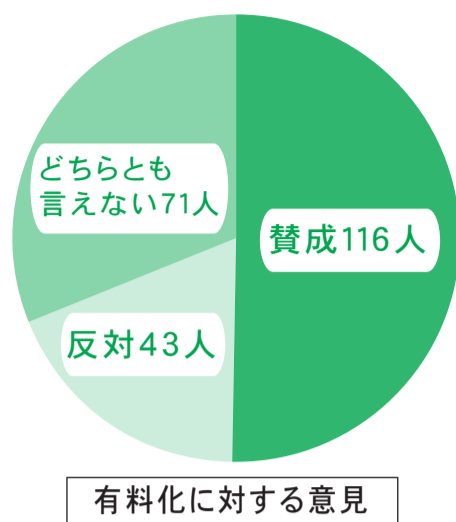


「ごみの有料化について」のアンケート調査報告

ごみプロジェクト

千葉市がごみの有料化を検討しており、市民ネットワークとしても皆さんのご意見をいただきました。2万3千枚配布したアンケートを実施しました。2万3千枚配布した230人の方に協力いただき、結果は表のようになりました。ご協力ありがとうございました。

佐々木典子



ごみ減量のために実践していること

- ①資源ごみの分別をきちんとし、リサイクルできるものは徹底的にする
- ②レジ袋をもらわず、エコバックを使う
- ③生ごみの処理
- ④過剰包装は断り、簡易包装にしてもらう
- ⑤余分な物は買わない
- ⑥スーパーなどの回収を利用する。(トレー・牛乳パックなど)

生ごみ処理の工夫

- ①畑・菜園・庭・土などに埋める
- ②水切りをしつかりする
- ③食材の有効活用(野菜をまるごと使いきるなど)
- ④堆肥化:コンポスト・ごみ処理機・ぼかし・EM菌
- ⑤乾燥化:ごみ乾燥機・天日干しなどで減量する
- ⑥生ごみ分別モデル事業で回収拠点へ出す:メタンガス化

有料化について 賛成・反対の理由内訳

| 有料化は・・・ | 賛成 | 反対 | どちらとも言えない | 合計 |
|----------------------|----|----|-----------|----|
| ごみの減量になる | 49 | | 9 | 58 |
| 不法投棄の心配 | 12 | 3 | 27 | 42 |
| 増税になる | | 5 | 11 | 16 |
| 分別の意識が高まる | 8 | 2 | 3 | 13 |
| やむを得ない | 9 | | 4 | 13 |
| 千葉市の財政難 | 9 | | 3 | 12 |
| 自分の出すごみに責任を持つ | 11 | | | 11 |
| 高齢者・乳幼児家庭など弱者への配慮が必要 | 2 | 2 | 7 | 11 |
| メーカーへの過剰包装の啓発 | 2 | | 2 | 4 |
| 有料化で得たお金の使い方が分かりにくい | 1 | | 2 | 3 |

千葉市がごみ減量のためにすべきこと

- ①プラスチックごみ分別回収
- ②生ごみの堆肥化(処理機の補助)
- ③市民への広報などで分別や出し方のさらなる周知
- ④企業への指導(販売者責任・過剰包装・レジ袋の廃止など)
- ⑤ごみ分別の細分化
- ⑥罰則規定
- ⑦不法投棄対策

(*回答の多い順に、ご意見を掲載)

以上のアンケート結果を踏まえ、有料導入の是非を判断していきたいと思えます。

千葉市では当初、9月の定例市議会での条例提案を目指していましたが、議会の一部に反発が出たことから、廃棄物減量等推進審議会に諮問する事になり、有料化の実施時期も流動的になっています。

街路樹プロジェクト

街路樹を検証し、その在り方や私たちにできる関わり方を考える

街路樹も

健康診断が必要です

7月13日、千葉大学の藤井先生と千葉駅前プロムナードを歩いて街路樹ウォッチングをおこないました。不要になった支柱や支持ベルトで傷んでいる木も多く、樹木カルテをつくって専門家による健康チェックが必要なことがわかりました。さらに業者による剪定技術を向上させる働きかけも大切です。

今後、市民が街路樹に関心や愛着をもち、手入れに積極的に参加していただけるような仕組みづくりが求められます。出前講座やホームページ、看板などを活用して、市の街路樹の現状や取り組みを広く知らせていくよう要望したいと思います。

街路樹充実のための計画や管理指針、条例などをつくり、意欲的に取り組んでいる市・区もあります。10月には、街路樹指針「新しい街路樹デザイン」を作成して緑のボランティアや緑のリサイクルなどを行っている江戸川区を訪問したいと思います。

小西由希子



千葉駅前
街路樹ウォッチング

お知らせ

11.3 憲法九条の集い in 千葉

- ◆日時 2012年11月3日(土) 13:30開演(12:30開場)
- ◆場所 千葉市民会館 大ホール
- ◆参加費:500円(定員1001人)
- ◆手話通訳あり・保育あり(2歳以上、要予約)
- ◆プログラム
 - ・小森陽一 報告
 - ・小森陽一 & 雨宮処凛 対談
- ◆問い合わせ
 - ・九条の会・千葉地方議員ネットワーク TEL 047-444-5262(津久井)
 - ・市民ネットワークちば(湯浅)

平和を願う市民のつどい 2012 in ちば

- ◆日時 11月10日(土) 13:30~16:30(13:00開場)
 - ◆場所 千葉市生涯学習センター 2Fホール
 - ◆参加費:500円(資料代)
 - ◆保育あり(無料・要予約)
 - ・申し込み締め切り10月31日
 - ・TEL/FAX 043-262-9534(市川)
 - ◆プログラム
 - ・基調講演 崎山比早子(元国会事故調査委員)
 - ・パネルディスカッション「ヒロシマ・ナガサキ 原爆と人間」
- パネル展示 同時開催

防災・避難所プロジェクト

既存の防災計画には、女性や障がいのある方、高齢者、ペットを飼っている方などの視点が不足し、東日本大震災の被災地では様々な不都合があったと報告されています。

市民ネットワークから千葉市に向けて、防災や避難所に関する政策提言ができればと始まったプロジェクトです。

4月に行った準備会を含め、8月末までに7回の話し合いを持ちました。メンバーが他市の防災・避難所運営マニュアル等を調査し、千葉市でも取り入れるべき項目について検討を重ねています。

7月18日には「首都圏に大地震 あなたならどうする? 避難所シミュレーションをしてみよう」と題し、ワークショップを行いました。

冬の14時ごろに起きた震度7の地震でライフラインがすべてストップしたという想定で、外出先で一晩すごすには何が必要か、また地域の避難所を利用する際に必要なことは何かということ、4つのグループに分かれて話し合いました。

当日は障がいのあるお子さんのお母さんや、盲ろう者の支援をされている方も参加されました。

例えば、不特定多数の人がいる場所でパニックを起こす人は、個室でない避難所では生活できないなど、様々な立場からの意見は、今後の政策提言に活かしていきたいと考えています。

岩崎明子



7月18日のワークショップ

| |
|--|
| 市民ネットワークちば 中央・いなげ・花見川・みどり事務所 |
| 中央区中央4-10-11 アイビル5F TEL 201-2551 FAX 223-7701 |
| わかば事務所 |
| 若葉区都賀の台4-5-15 TEL 284-2339 FAX 284-2362 |
| みはま事務所 |
| 美浜区高洲1-24-2 千葉市不動産会館3階B TEL 278-5005 FAX 278-5005 |